

## 第1版（2025年6月11日作成）

### ご遺体を用いた解剖学的研究に関する情報

本学では、以下の研究を実施しております。この研究は、亡くなられて検体していただいたご遺体を用いて行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この研究は関西医科大学倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や献体者個人の人権が守られていることが確認され、本学学長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 献体されたご遺体を用いた手指伸筋腱の解剖学的研究

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院 リハビリテーション科 横山亜紀子

《研究の目的》 本研究では、亡くなられた関西医科大学白菊会会員より献体されたご遺体を用いて、手指伸筋腱の滑走状況の観察ならびに腱修復術後の安全なリハビリテーション方法の検討を行い、手のリハビリテーション分野の治療手技の向上や地域医療の安全向上を図ることを目的とする。

《研究期間》 研究機関の長の許可日～2031年3月31日

《研究の方法》

- 対象 関西医科大学白菊会会員より献体されたご遺体
- 研究に用いる情報の種類

故白菊会会員により献体されたご遺体を用います。生前同意によりご遺体の用途は解剖学の教育（学生を対象とした教育）・研究に加え、臨床教育（手術手技研修等）・研究とされています。

《試料・情報の利用又は提供を開始する予定日》

2025年10月15日

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究でのご遺体および検体の取扱い》

お預かりしたご遺体は、個人の氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。また、整形外科科学講座の整形外科科学領域の手術手技研修の一部として、整形外科医の指導・監督のもと実施しています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、ご遺体の不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は各研究機関の指針や規程等に基づき各研究機関の所定の委員会等に申請し、その審査と承認を得ています。

\*上記の研究（教育・研修）に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学 臨床解剖教育研究センター 副センター長 中野洋輔

〒573-1010 大阪府枚方市新町 2-5-1 電話 072-804-0101（内線 2304）